



第3学年 進路通信

～黄金の1000日の道のり～

発行
前橋女子高等学校
第3学年
第10号 2019/9/18

推薦・AOを希望する人へ

○推薦とは

成績が優秀で人格も優れている、前女生の代表としてふさわしい生徒を、校長が責任を持って推薦する制度です。推薦入試は、大学と高校のある種の契約ですから、合格したら絶対に入学し、大学でしっかり活躍してもらいます。

推薦入試は、高校での活動を評価してくれる入試制度ですから、基本的には学習やその他のあらゆる活動に真剣に取り組んできて、好成績を収めている生徒が希望します。各大学の推薦入試の定員は増加傾向にありますから、受験を検討してみるのもいいですが、リスクもあることを承知しておいてください。またAO入試も同様に以下のリスクを伴いますので、AO入試受験を考えている人もよく読んでください。

○推薦入試のリスク

大学入試では、「国公立前期合格」「私立一般合格」を目指すのが基本中の基本です。そのことを念頭に置いて、リスクを考えてみましょう。

公募制推薦やAO入試の場合、合格率は決して高くありません。評定平均が高くて落ちることもあります。落ちると当然、ショックを受けます。大きなショックを受けて、精神的に不安定になる人もいます。ショックが長引けば一般入試も不合格です。大きなショックを受けそうな人は慎重な出願が必要です。

推薦やAO入試は書類・面接・小論文を課すのが一般的です。その準備にはかなり手間がかかります。10月～12月は学力が最も伸びる時期です。その時期に一般入試の学習以外に時間を費やすのは、それなりのリスクが伴います。そういう意味では、センター試験の点数や、科目テスト優先の推薦入試は、そのリスクが比較的小さくなります。

○もし推薦入試に合格したら

最初に述べたように、推薦入試は前女生の代表として受験しています。合格したからといって遊びほうけてしまうようでは受験する資格はありません。もし推薦入試に合格したら、模範的な前女生として振る舞ってもらわないと困ります。服装や身なり、生活習慣も含めて、生活には注意してください。生徒指導の対象になることや、バイトなど、もってのほかです。場合によっては推薦取り消しのこともあります。

今後の授業は、受験中心の授業になっていきますが、合格していてもその授業をしっかりと受けて力をつけてください。予習復習などの家庭学習もそれまで通りにやってください。今大学では推薦で合格した生徒の学力不足が問題になっています。最後までしっかりと授業を受けることは、大学に入ってからの自分のためでもあるのです。その一環として、センター試験は申し込んだ科目をきちんと受験してもらいます。これを学習の目標の一つにしてください。

もう一つ、家庭学習期間に県が主催している「ようこそ先輩」という企画があります。出身の小学校に出向いて、授業の協力などをする企画です。小学校で、先輩が来てくれた思い出のある人もいるのではないかでしょうか。推薦合格者は、原則この企画に参加してもらいます。